■勤務条件（令和７年４月１日現在）

〇給与
初任給　約248,100円（地域手当を含む）
※新規大卒者を基準とした額。一定の経歴がある場合、経歴に応じて加算。
手当
　扶養手当（配偶者3,000円、子11,500円/人
　　特定年齢の子は5,000円/人を加算）
　住居手当（28,000円上限）
　通勤手当（55,000円上限）
　期末・勤勉手当(年２回 年間4.6月分)等

〇勤務時間
勤務日　月曜日から金曜日まで
　（土曜・日曜・祝日休みの完全週休２日制）
勤務時間　８時３０分から１７時１５分まで
　（休憩時間１２時から１３時まで）

〇休暇
年次休暇　年２０日（4月1日採用の場合は15日）
他の休暇　夏季休暇５日　子育て休暇　等

■人材育成

〇研修
職場内での職員研修
埼玉県職員研修・学芸員研修参加
埼玉県の埋蔵文化財保護行政に関する講習
文化庁埋蔵文化財保護行政に関する講習　等

〇資格取得
業務に必要な各種作業主任者・技能講習等

〇研究助成
「考古学・埋蔵文化財に関する職員の研究」
「仕事にかかわりのある調査」等を助成・支援

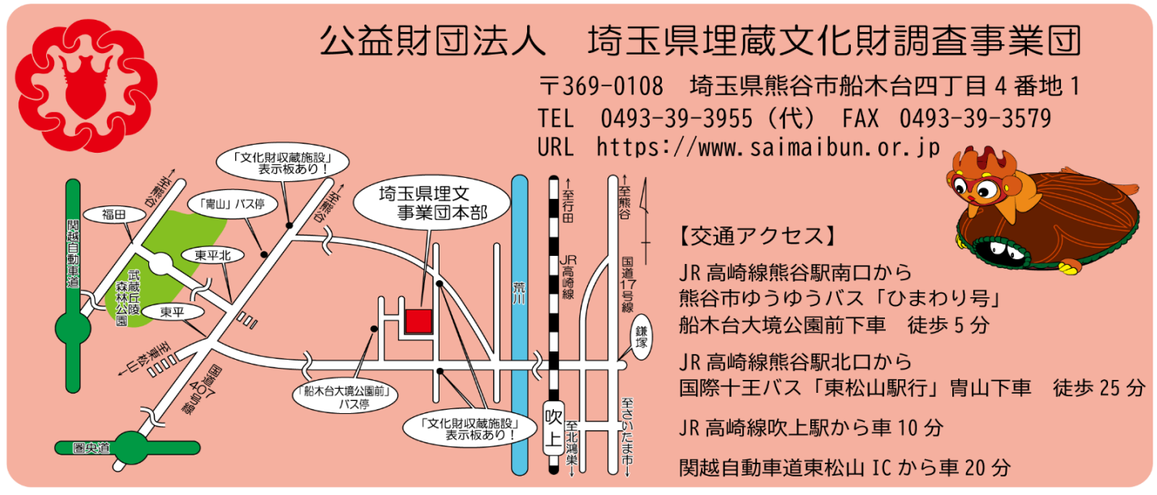
■組織の概要

設立日　昭和５５年（１９８０年）４月１日
出資者　埼玉県
基本財産　１，０００万円
職員数　　４５名
事務所　埼玉県熊谷市船木台四丁目４番地１

組織図

- 理事長
  - 常務理事
    - 総　務　部 ― 総務課（総務・財務）
      企画課（企画）
    - 調　査　部 ― 調査第一課（発掘調査）
      調査第二課（発掘調査）
    - 資料活用部 ― 整理課（発掘調査報告書作成）
      資料保存活用課（資料保存・普及）

公益財団法人　埼玉県埋蔵文化財調査事業団
〒369-0108　埼玉県熊谷市船木台四丁目４番地１
TEL　0493-39-3955（代）　FAX　0493-39-3579
URL　https://www.saimaibun.or.jp



【交通アクセス】
JR 高崎線熊谷駅南口から
熊谷市ゆうゆうバス「ひまわり号」
船木台大境公園前下車　徒歩 5 分

JR 高崎線熊谷駅北口から
国際十王バス「東松山駅行」貴山下車　徒歩 25 分

JR 高崎線吹上駅から車 10 分

関越自動車道東松山 IC から車 20 分

令和７年度
公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
発掘調査職員　募集案内

「掘る」という選択肢

古くから多くの人々が豊かな生活を営んできた埼玉の県土には、先人の生活の足跡を物語る埋蔵文化財が数多く残されています。公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団は、４５年以上にわたって公共工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査を手掛け、その成果を４８０冊以上の調査報告書としてまとめ、歴史文化の一端を明らかにしてきました。

貴重な国民の財産である文化財を保存し、また、様々な活動を通じて、文化財保護思想の啓発と普及を図ってきました。

教科書には載っていない「地域の歴史」を、私たちと一緒に解き明かしていきませんか。

【受験案内の入手方法】
当事業団のHPからダウンロードしてください。
HP: https://www.saimaibun.or.jp/

【オンライン説明会】
オンラインによる個別の説明会を実施します。
希望する方は、お気軽にお問合せください。
内容　①組織の概要　勤務条件の紹介
　　②仕事内容の紹介
　　③先輩職員との懇談
　　④採用試験日程の案内　等

【採用試験】
・受験申込
　令和７年９月５日(金)必着
　詳細は、受験案内及びHPをご確認ください。
・採用試験
　一次選考(SPI3)　令和７年９月16日(火)
　　～９月26日(金)
　一次選考(論文等)　令和７年９月28日(日)
　二次選考(面接等)　令和７年10月19日(日)

私たちは、何事にも興味を持って絶えず探究できる人を求めています。

埼玉で「掘る」という選択肢

先輩職員インタビュー#01

採用２年目
調査部調査第二課　清水　黎央　主事

Ｑ１　志望動機を教えてください

地方の大学で考古学(弥生時代)について学んでいましたが、卒業後は学んだことを生かして、地元 埼玉県で埋蔵文化財に関わる仕事をしたいと思い志望しました。

Ｑ２　今の仕事のやりがいはなんですか

普段は遺跡の発掘調査などを行っています。また、担当した現場によっては遺跡見学会の準備をすることもあります。

遺跡見学会は自分が調査した遺跡について、地域の方々に直接伝えることができる場であり、非常にやりがいを感じています。

ある１日のスケジュール

8：30　1日の調査工程の打合せ
9：00　補助員への作業指示・情報共有
9：15　遺構確認、写真撮影の清掃指示
　　遺構写真撮影
　　遺物取上げの指示
13：00　遺跡見学会パンフレットの作成
16：30　現場撤収の指示
17：00　日誌類の記入

Ｑ３　これからの抱負や目標はありますか

発掘調査の経験豊富な上司や先輩がたくさんいる職場です。今は日々の調査や事務など新しく覚える仕事で大変ですが、周りの人がすぐに相談に乗ってくれるので安心感があります。

これからは、事務能力と発掘調査の技術の両方を身につけて、安心して仕事を任せられる職員になりたいです。

先輩職員インタビュー#02

採用９年目
加藤　隆則　資料保存活用課長

Ｑ１　埼玉県埋蔵文化財調査事業団(埼埋文)を志望したきっかけを教えてください

大学卒業後、期限付職員として埼埋文で勤務し、多くの専門職員や専門機器類、豊富な蔵書量に魅力を感じていました。

10年ほど東北で同様な埋蔵文化財に関わる業務経験を経て、埼埋文での募集情報を知り、再び魅力的な環境で働きたいと思い志望しました。

ある１日のスケジュール

8:30 ミーティング
　（職員動向や来客対応の確認）
9:00 朝礼(作業員と当日業務の確認)
9:15 前日までの書類の確認
10:30 展示会の企画会議
13:00 企画書の作成
15:30 小学校にて出前授業の打ち合わせ
16:45 出前授業の授業案作成

Ｑ２　印象に残った出来事はありますか

「整理作業の様子を見たい」と突然の来訪者があり案内することがありました。半年後、その方が「整理作業員として採用された」とご挨拶に見えたのです。

土や遺物が中心の仕事ですが、すぐそばのファンを大切にする重要性を認識しました。

Ｑ３　職場の雰囲気と心掛けていることを教えてください

中堅・若手職員の活躍が目覚ましい職場です。研修やOJTも充実しており、「若手」と言われていた職員が実績を積み自信を持ち始めていると感じます。個人の価値観も多様化している中で、個々の考え方を尊重しつつ、組織の目標をどう達成していくかに注力しています。

職場案内

発掘調査【調査部調査課】

人々が便利で安心安全に暮らすため、道路建設や河川改修などの様々な公共事業が進められていますが、その地下には、多くの埋蔵文化財が眠っています。

私たちは、開発事業に伴って失われる遺跡の記録を保存し、後世に伝えるために発掘調査を行っています。

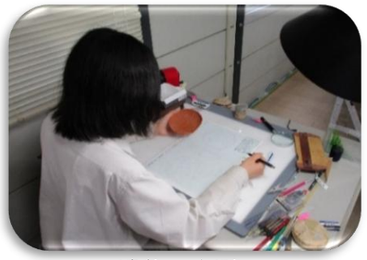
発掘方法・手順の指示

遺構覆土の観察・分層

発掘調査報告書の作成【資料活用部整理課】

発掘調査で出土した土器や石器などは、水洗、注記、接合し、実測図を作ります。

また発掘調査された遺構の図や写真などの様々な情報を整理、編集し、発掘調査報告書を作成します。



遺物の実測

遺物の撮影

埋蔵文化財の保存と活用【資料活用部資料保存活用課】

木製品や金属製品などの保存処理や、60万点を超える出土品、発掘調査の記録類を閲覧できるように整理しています。

また、埋蔵文化財の大切さを伝えるため、遺跡見学会や展示会、学校への出前授業なども開催しています。

木製品の保存処理

遺跡見学会の開催